

エキノコックス症に気をつけましょう！

1 どんな病気？

エキノコックス症は、北海道以外ではあまり見られない病気で、エキノコックスという寄生虫が人の肝臓に寄生して起こる病気です。

エキノコックス症にかかってもすぐ症状は出ません。10年くらい、体の中で潜んでいて、あるとき、おなかの上の方がへんな感じやふくらむ感じがしたり、顔や体が黄色くなったり、体が疲れやすくなったりします。

2 エキノコックスはどこから？

エキノコックスは小さな寄生虫で、その卵はとても小さいので目には見えませんが、キツネや犬などのフンに入っていることがあります。キツネなどをさわったり、そのフンがついた食べものや水などを口にとるとエキノコックス症にかかることがあります。

3 どうやって気をつけるの？

●外から帰ったあと、犬などにさわったあと、食事の前は、必ず手を洗いましょう。

●キツネにえさをあげたり、近づいたり、さわったりしないようにしましょう。

●動物のフンをさわらないようにしましょう。

●池や川の水などを飲まないようにしましょう。

●野菜や果実は、よく洗うか十分に加熱して食べましょう

「エキノコックスの卵は熱に弱く、熱を加えれば確実に死にます（100℃、1分間）」

●犬を散歩させるときは、リードをつけてネズミなどを食べさせないようにしましょう。

手洗い



キツネに

ちかづいちゃダメ

えさあげちゃダメ

さわっちゃダメ